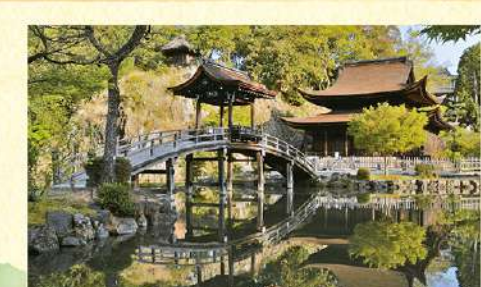


多治見観光ボランティアガイド (多治見駅観光案内所内)  
TEL: 0572-24-6460 助成: 多治見市まちづくり活動事業補助金

### “多治見の観光地”



**虎渓山永保寺 (2件の国宝建造物)**  
臨済宗南禅寺派の禅寺。鎌倉時代末期1313年夢窓国師開祖、仏徳禅師開山。国宝の観音堂と開山堂があり、国の名勝庭園指定の広い庭園はみごと。



**多治見神言修道院**  
昭和5年・1930年にカトリック神言修道会が、宣教師モール神父により設立した男子修道院。広大な敷地にぶどうが栽培されワインが醸造される。大聖堂は月曜日が休み。



**多治見市モザイクタイルミュージアム**  
ユニークな外観が特徴で、“美濃焼の街並とタイルの町・笠原町”に位置し、モザイクタイルを使用したアートが展示され、タイルを貼ったオリジナル小物も作れる体験工房は必須。

他にも美濃焼の街並(オリベストリート)も見処!

### 下街道には案内板があるよ!

下街道を保存・伝承するため、5市のボランティア(7グループ)が共通の案内板を設置しています。



下街道の道標

#### 下街道の樹

金木屋 電報9-10月  
金木屋は、下街道沿線の観光ボランティア(下街道サミット)が下街道の活性化の取り組みの一環として植樹した。

◆下街道とは  
中山道御嶽峠(瑞浪市)から釜戸(瑞浪市)高山(土岐市)池田(多治見市)瀬戸(春日井市)を経て名古屋市中区松原町札の辻に至る、全長約57kmの東海道と中山道を結ぶ街道です。現在の国道19号線に沿っている。古くから物流と、御嶽参り・善光寺参り・伊勢参りに往來する庶民の街道として賑わっていた。

下街道の道場  
中山道 御嶽峠 瑞浪市 池田 瀬戸 春日井 土岐市 大曾根 名古屋

下街道サミット

下街道のシンボル樹(金木屋)と説明文

#### 下街道の名所

内津峠の馬頭観音  
江戸時代から明治時代前期までは、馬の背の両側に荷物を取り分けて積むのが一般的でした。明治20年頃より荷車・馬車が用いられた。朝、御嶽を通過して多治見を立ち回り御嶽・池田間で最後の馬頭と助け合って、2頭立てとなり峠を越え、夕方に名古屋に到着。このように馬は重要な担い手で大切にされ、死ねば供養塔として祀った。馬頭観音は仏教の守護神ですが牛馬に関係する従事者が、その供養と無病息災を願い民間信仰的な存在であった。河馬頭観音は、「馬車・荷車」の路が通された輸送集団・愛知組が、内津峠の安全を祈願して明治27年(1894年)に建立された。

下街道サミット

下街道の名所案内板

### 下街道とは?

名古屋市中区2丁目にあった「伝馬会所札の辻」を起点として、名古屋市を北東へ大曾根から上記の地図・宿場を経由し、恵那市の「中山道」横ヶ根に至る14里半(約58km)の街道である。江戸時代に中山道と名古屋城下を結んだ脇往還で、善光寺道、釜戸道、名古屋道、伊勢道とも呼ばれ、庶民の街道であった。古くは、日本武尊が東征の帰路に、また1313年多治見を訪ねた夢窓国師が、古刹永保寺を開創した時、そして織田信長が武田との戦い(天正3年・1575年)でこの道を通った。明治13年には明治天皇も便利なこの道を巡幸したように、歴史ロマンに満ちた街道である。

